



OLIVE ニュース 12月2019

月刊紙

1月の予定: 職員と利用者の新年顔合わせ会・外出支援・避難訓練・資料一括送付・後援会総会



左: 大野 洋子様 右: 石井 實様

平成の終わりに
五月、新元号「令和」が始まりました。長く慣れ親しんだ平成も時の流れに消えていきましたが、令和の始まりにいわき市も二度の水害に見舞われ、その惨状に言葉を失いました。被害に遭われた方々、もう片付けは終わりましたでしょうか、心からお見舞い申し上げます。何かあつておかしくない時代に入っている恐怖を感じますが来年も乗り切つて行きましょう。

阿列布も今年最後のイベント、クリスマス会が行われました。席上小名浜にある創芸工房のオーナー大野様所有の大変貴重な絵画が寄付されました。当日この絵を描かれた石井實画伯と奥様もお見えになりこの絵のご紹介をされました。透き通るような、且つ息をのむような圧倒的な美しさを感じる絵でした。(ご覧になりたい方は会議室にあります)その他、多くの方々からたくさんの御浄財も賜りました。参加された皆様と利用者、保護者の皆さまと共に厳かな中にも楽しいひと時を過ごすことができました。

今年も残すところ後わずかになりました。事業所では、毎年恒例のクリスマス会が行われ今回はサンタが登場し、ゲストでは今年ブレイクしたものまね芸人「りんごちゃん」に扮した職員が場を盛り上げました。大抽選会では来賓の方や、保護者の方も利用者の皆さんと一緒に楽しんでいました。皆さんの笑顔を見られる事が私にとっての喜びでもあります。今年一年お世話になりました。良いお年をお迎えください。



管理者 佐藤 央庸

面談についてのお願い

令和2年度の上半期個別面談を行います。お知らせの文書は1月10日に送付した一括文書の中に入っています、面談希望日を記入し**1月24日(金)まで**に事業所に提出して下さい。日程を調整させていただき面談日をご連絡いたします。お忙しいとは思いますが、よろしくお願い致します。

サービス管理責任者 鈴木 さゆり

当たり前と思う事に風穴を

どの仕事においても慣れというのは怖いものです。事故につながる怖さなどありますが、慣れがでると新しい発想や斬新なアイデアが生れなくなってしまいます。生活でもそれは同様で、色々な不満があつても慣れた環境に甘えてしまい改善の力がなくなれば、それは安定ではなく怠惰となります。年度も終盤に入ってきています。常に自分を省みながら頑張りましょう。

相談支援管理者 坂井



一年間使った施設に感謝を込めてみんなで大掃除を行いました。施設もピカピカになって喜んでいきます。